

イノベーション部門

応募事例名

確認困難箇所におけるDX技術を活用した新たな出来形確認の試み

応募団体名)東京都下水道局

応募事例の概要

○高所や狭隘箇所等において、施工完了後の出来栄えや寸法等を確認するために、ドローンや3DスキャナなどのDX技術を活用

応募事例の内容



ドローンによる確認映像
(第一沈殿池内)



生成した3Dモデル
(第一沈殿池内)

ドローンを使用することで狭隘箇所や高所の出来形確認が可能。
寸法等の計測には、3Dモデルを使用することで確認が可能となる。

PRポイント

下水道工事では、工事完了後の出来形確認の際、仮設足場の設置や施設管理者との運転調整に多大な労力を要するが、本技術の活用により、安全に現場を確認でき、検査のための施設管理者との運転調整の負担や仮設設備に要するコストを低減することができる。また、3Dモデルについては、現場を3Dで可視化することにより、工事関係者間において共通の認識を持ちやすくなり、工事関係者の理解促進と安全管理の向上に繋がる。



下水道局 計画調整部
技術開発課長

ドローンを扱う業者と工事の検査を実際に行う検査員の意見をフィードバックしながら、実証実験を行いました。その際に、工事の検査で見るべきポイント等を、ドローン業者とも共有することで、動画や3Dモデルなども出来形確認に活用可能との結果が得られました